生涯学習

「ふるさと再発見」テーマに生涯学習フェスティバル

「豊かな人間性と文化を育む、ゆとりに満ちたまちづくり～ふるさと再発見」をテーマに、さまざまな団体や市民が1年間取り組んだ成果を発表する、第25回生涯学習フェスティバルが3月13日、市民会館で開催されました。

表彰式や活動成果発表、体験コーナーなどがあったほか、講演では本市出身で現在、鹿児島情報高等学校教諭の大工園認さんが「足下が宇宙～『路傍300』と『小さな花の大きな秘密』～」を演題に、美しく神秘的な植物の魅力を紹介しました。

①山口子ども会による活動成果発表　②県青少年国際協力体験事業に参加した白澤希さんによる活動成果発表　③表彰式の様子　④市民会館ホワイエに展示された生涯学習成果作品　⑤講演をする大工園認さん

表彰者の紹介（敬称略）

青少年健全育成功労者

木口屋公民館婦人部、枕崎小学校金管バンド、山口達也、山崎昭二、茶屋真人、中島ゆかり、小原士朗、吉留謙二

優良社会教育関係功労者

目近重三、山下俊雄、川越正裕、神田マユミ、松﨑良一、國生美和子、宗前信夫

市民あいさつ運動標語最優秀賞

大工園隼翔（桜山小1年）、下山倖美（別府小2年）、水野徳人（桜山小3年）、川口愛子（枕崎小4年）、佐藤こころ（桜山小5年）、大園日葉里（桜山小6年）、神園凌志（枕崎中1年）、堂薗翔永（立神中2年）、宮路涼輔（立神中3年）、揚野万凜（鹿児島水産高2年）、松野下耕作（一般）

ファミリーサポートセンター

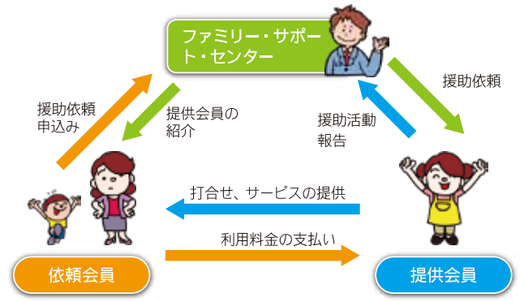
ファミリー・サポート・センターを利用してみませんか？

ファミリー・サポート・センターとは、育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人が会員となり、地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織・有償のボランティア活動です。「NPO法人子育てふれあいグループ自然花」が仲介して、会員同士が支え合います。

お子さんを預かるため、提供会員は安全・事故対策も含めた援助活動に必要な講習を受けています。また、会員同士は活動の前に顔合わせをすることになっています。

センターでは安心して活動できるように、預かっている子どもがけがをした場合などに備え「ファミリー・サポート・センター補償保険」に加入しています。会員登録と同時に「サービス提供会員傷害保険」、「賠償責任保険」、「依頼子供障害保険」に自動加入することになります（保険料はセンターが負担）。

●ファミリー・サポート・センターの仕組み



登録条件

- **依頼会員**（育児の援助を受けたい人）＝市内在住または勤務の方で生後3カ月から小学6年生までの子どもがいる方
- **提供会員**（育児の援助を行いたい人）＝市内在住の方で心身ともに健康で子育て支援に意欲のある20歳以上の方

利用内容

- 保育施設までの子どもの送り迎え
- 保育施設の時間外や学校の放課後などに子どもを預かる
- 保護者が買い物など外出の際に子どもを預かる
- 保護者の病気や冠婚葬祭などの急用時に子どもを預かる

利用料金及び報酬（1時間当たり）

- 月～金（午前7時～午後5時）＝600円
- 土・日、祝日＝700円

※5時間を超える場合は1時間当たり100円割引

体験談

依頼会員の声

- 祖父母に頼めない時などに利用しています。子どもも送迎してもらうことを喜んでいて、安心してお願いしています。（30代・女性）
- 家族以外に子どものサポーターがいる安心感から子育てのことや学校のことを相談したりしています。気軽に相談できるので大変心強いです。（30代・女性）

提供会員の声

- 子どもさんのお迎えやお預かりは、こちらもいろいろな発見があって楽しいです。子育て世代のみなさんのお役に立てればと思います。（50代・女性）

■問合せ　NPO法人子育てふれあいグループ自然花　TEL58-1888

Topic1 東白沢公民館に海岸愛護活動県知事表彰

平成27年度河川・愛護活動表彰で、東白沢公民館（白澤孝男館長）が海岸愛護の県知事表彰団体に選ばれました。これは、河川愛護運動及び海岸愛護運動に功績のあった団体に贈られるもので、東白沢公民館が長年継続して海岸清掃活動を行っていることが認められたものです。3月22日には表彰伝達式が市役所であり、南薩地域振興局建設部建設総務課の小原弘幸課長（写真右）から伝達がありました。白澤館長は「ウミガメのためにみんなでやってきたことが結果としてこのような表彰を受けることとなりうれしく思います。1匹でも多くのウミガメが産卵できるようにこれからも清掃活動を継続していきたいです」と話していました。

Topic2 中川路芽衣さんに県知事表彰最優秀賞

中川路さんの作品

土砂災害防止月間にあわせて国土交通省が募集する平成27年度土砂災害防止に関する絵画コンクールで、中川路芽衣さん（桜山小3年）の作品が鹿児島県知事表彰最優秀賞に輝きました。

中川路さんは「災害の時に大人が子どもを守っているようすを描きました。必死に守ったり逃げたりする姿を表現するのが難しかったです。賞をもらえてうれしいです」と話してくれました。

Topic3 福岡工業大学吹奏楽団枕崎公演実行委員会が野球場用の砂を寄附

福岡工業大学吹奏楽団枕崎公演実行委員会（揚野卓郎会長）から市営野球場に野球場用の砂が寄贈されました。揚野会長は「福岡工業大学野球部が本市でキャンプをすることがきっかけで吹奏楽団の公演が始まったので、野球に関することで貢献できないかと考えていました。役立てていただければうれしいです」と話していました。

Topic4 幼年消防隊員のポスターが防火広報に一役

春の火災予防期間中、防火意識の向上を目的に行われた幼年消防クラブポスター展で、妙見幼年消防クラブの福永光哉くん（写真右）、立神幼年消防クラブの宮路輝希くん（同中央）、ふじ幼年消防クラブの俵積田大空くん（同左）の作品が金賞に選ばれ、2月24日に消防本部で表彰式が行われました。入選したポスターは春の火災予防期間中、スーパーなどに掲示され、防火広報に一役買いました。

Topic5 姶良心晴さんに文部科学大臣賞

姶良さんの作品

正しい交通ルールやマナーを広め、事故を減らすため一般財団法人全日本交通安全協会と毎日新聞社が主催する平成28年使用交通安全ポスターデザインこども部門で、姶良心晴（こはる）さん（桜山小6年）が文部科学大臣賞に輝きました。姶良さんは「少しでも交通事故がなくなればいいなと思いながら描きました。賞をもらえてとてもうれしいです」と話してくれました。

Topic6 枕崎建設業組合と連携し大規模山林火災訓練を実施

3月22日、枕崎ヘリポート西側空地での大規模な山林火災を想定した訓練が消防本部、枕崎建設業組合、県消防防災ヘリコプター参加のもと実施されました。訓練では、消火訓練や延焼防止訓練、重機を活用しての負傷者救出・搬出訓練、防災ヘリによる空中消火訓練などが行われ、非常時の連携等について確認を行いました。